

嶋

次

郎

は
な
に
あ
ち
、
さ
く
ら
の
こ
ろ

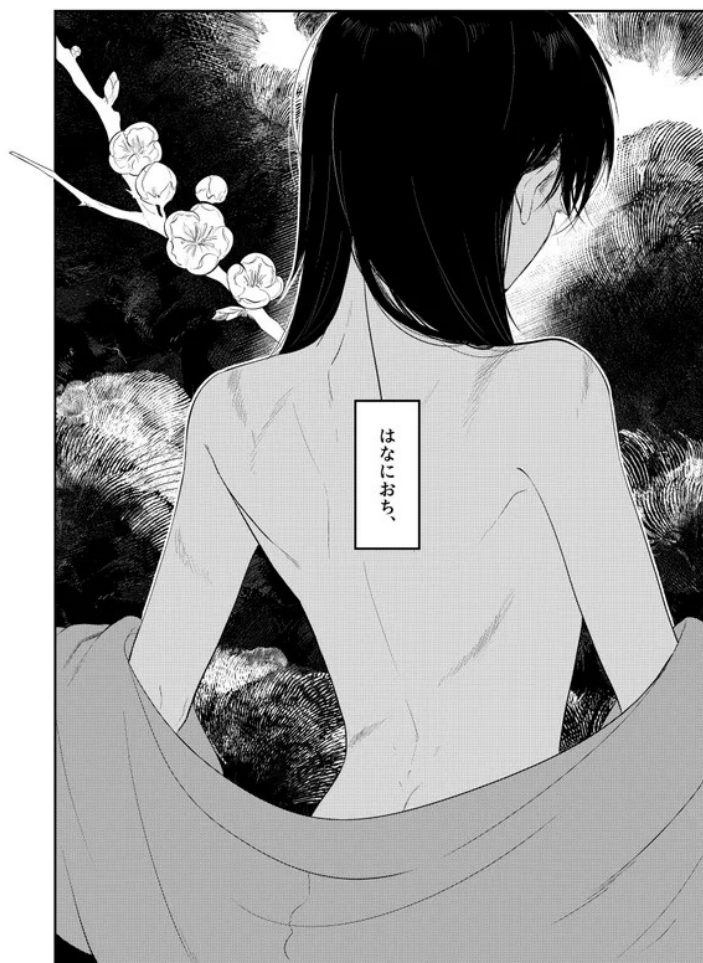
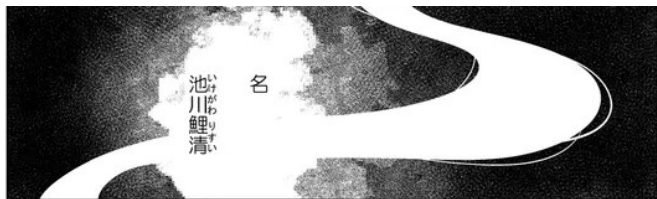


間。創作BL
小説家×美少年

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止







お疲れさま
です

少し休憩
しませんか？



小説家

といえは
聞こえはいい
だろう

私はただ
他人と深く関わるのが
ひどく億劫であつた
ものだから

一日のほとんど
机に向かい
没頭する行為は
単純に



「生きやすかつた」
それだけだ

全てから逃げるように
空想を重ねるのは
悪くなかつた
物を書くのは
趣味のそれであつたが

幼少より
断りきれない
性格も相まって
知り合いの勧めに乗り
執筆を続けていた



ひとりこのちいさな机で
その時が来るのをただ待つている
の
時
が
来
る



私の人生は
それだけだ
思つていた

先生



すぐ濡れのこと
もが家に飛び込んできて
働きたいと言っ

熱心なファンが
弟子にしてくれと
おしかけてくる
ことは多々あったが



彼女は少しだけ毛色が
ちがった



参った
こんな夜更けに
女の子がひとりで

…住み込み
言っていた

事情がある
のだろうか

いや



大丈夫
明日断れればいい

カッ













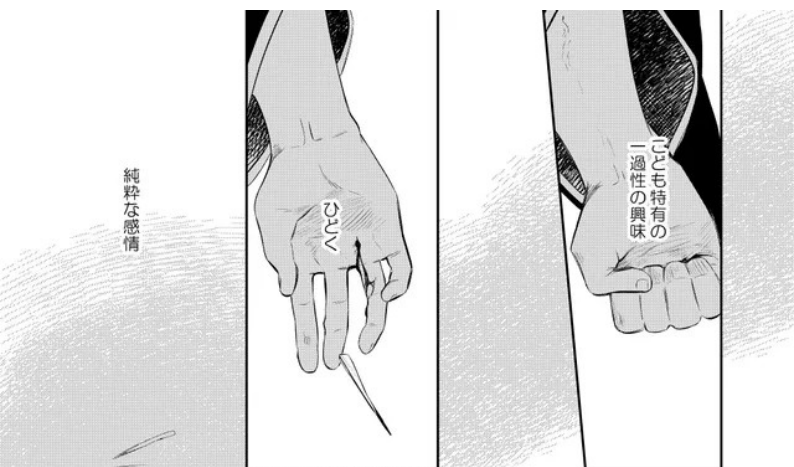






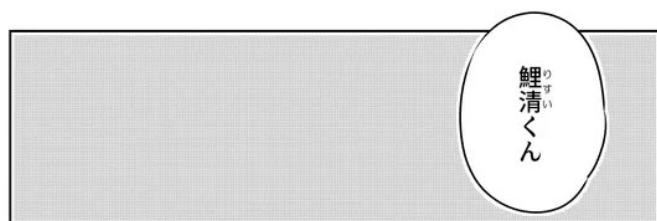
すっかりと忘れていた
お家からも世からもひとり
逃げ出してきた
私は心安らぐと
この小さな庭の
ために
幾ばくかの小銭を
揃き集めて
どうにか
移り住んできた
というのに











花に堕ち、











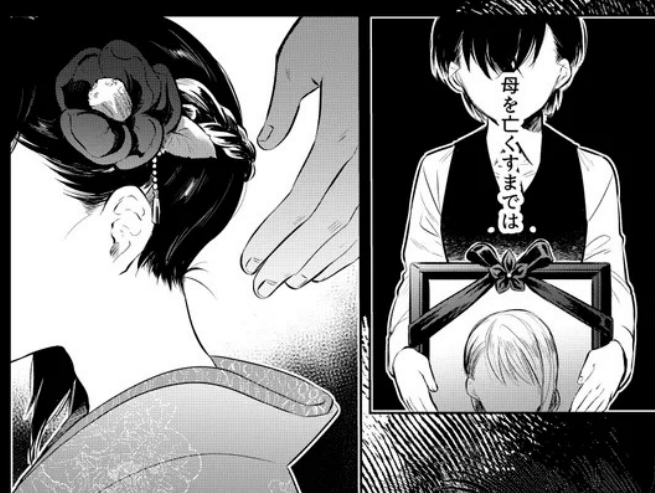
















鯉清くん

どんな感情が
わいても
かまいません

書くことだけは
やめないで

それだけは
ずっとだいに
持っていて
ください



何故

忘れて
いられた

目の前の
苦痛にだけ
没頭して

撫でてくれた人など
他にやしなかったのに

人は…

どこかで
繋がっていて

それはまた
意図せず人を
生かし…



おばあさま
知ってるの？

ええ
うちと池川さんは
古い仲でね

その
ひとり息子さん
だったわね

おじいさんが
とても可愛
がってたのよ

あった
あった

そう言って
祖母が出て
くれたのは何通かの
手紙だった



待て！

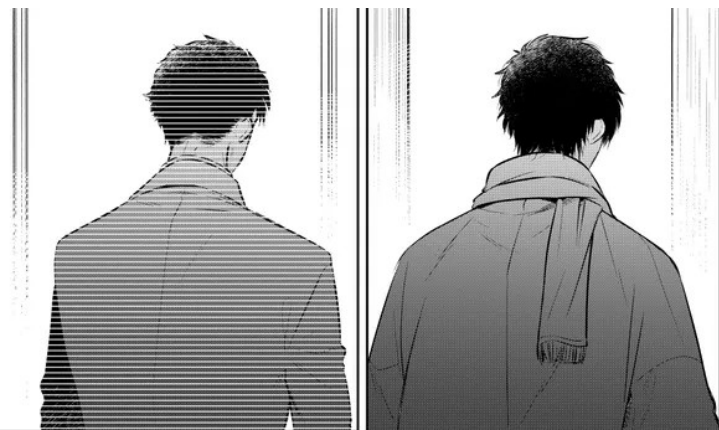
辰之助

君は

フジムラの
孫か！？



鯉清くん



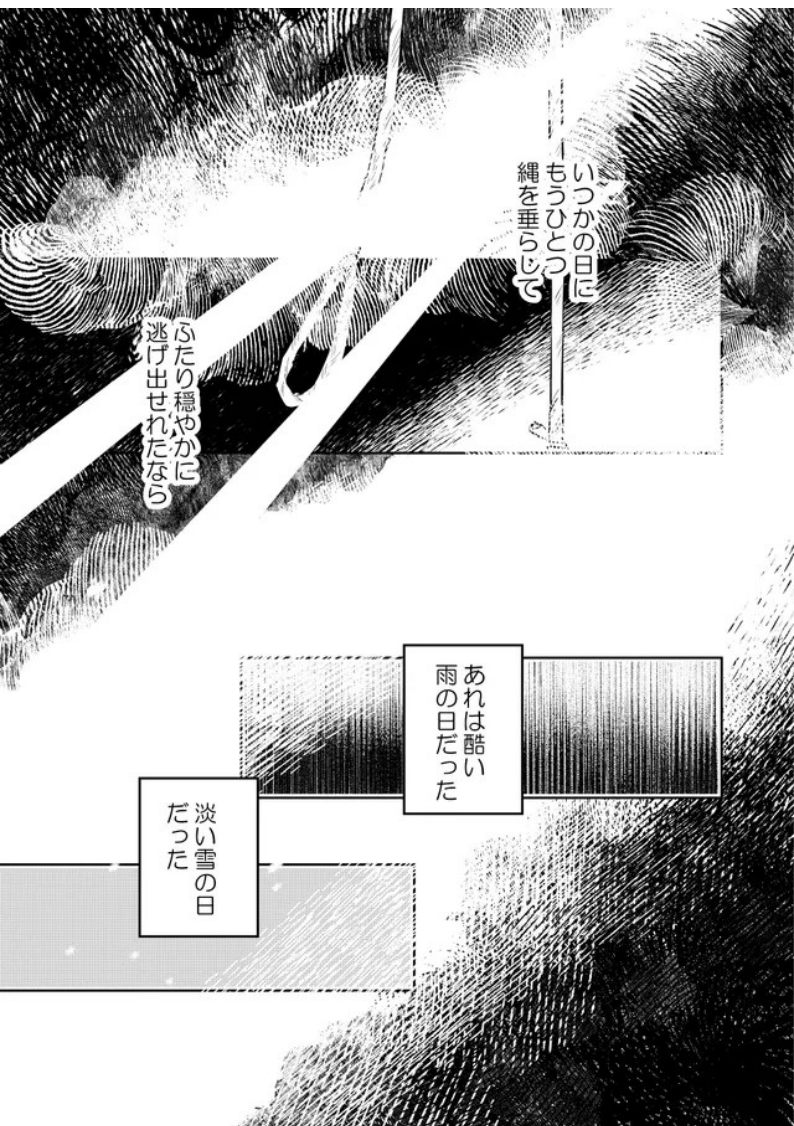












次は、
いつの日だろうか



花に堕ち、
桜の日。

おわり

初期設定



いけがわ りすい
池川鯉清

小説家 28歳 185cm
穏やかで優しいが少し
臆病。幼い頃の酷い
教育により
恐怖感が拭えない。
深層心理や
エロティシズムな
作品を書いているので
コアなファンがつきや
すい。
屋根裏に縄を置いて
おくことで平常心を
保っている。
不眠症でくまがひどい。

最初は後ろ刈上げに
してただけどボサボサに
変更しました



ふじむら たつのすけ
藤村辰之助

17歳 156cm
普通の家庭に育ったが
諸々に色々あって
休学している。
元は明るく活発な子
だったが諸々。

献身的な行動は
依存に近い。
髪はけっこうすぐ伸びる。
実は最後までされたわけではないので、
えっちは先生がはじめて。

■あとがき

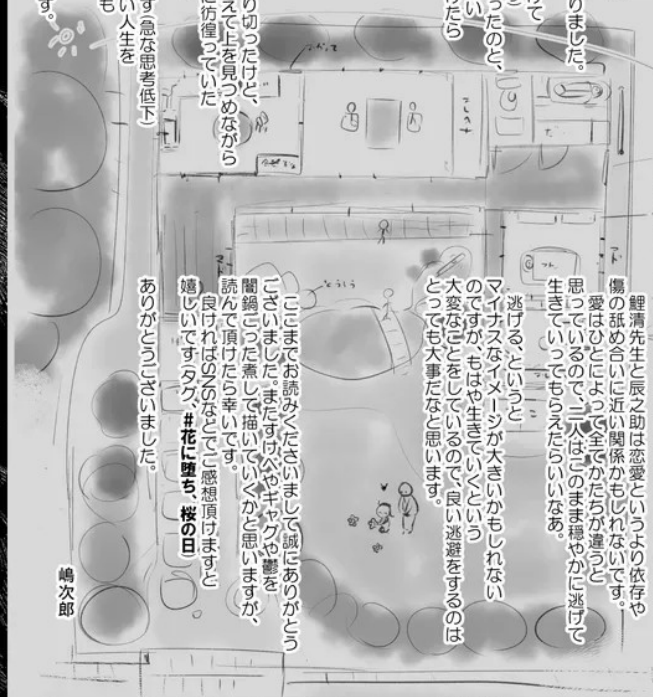
お久しぶりです嶋次郎です。
ここ数年はギャクかスケヘな
漫画を描いていたのですが、
久しぶりに鬱々とした感じの話になりました。
喜怒哀楽、人間の感情が沢山描けて
楽しかったです。楽しかったです。
すけへがあまり入れられなかったのと、
尺の問題でページ数もすくなく
カットしたので、まだいくつか描けたら
うれしいなと思います。

名前は『鯉の滝登り』の、
竜門を登る。
登り切った鯉は
龍になれる、という故事
からです。いわゆる登龍門

鯉清先生は文学の登龍門は登り切ったけど、
愛情や他人とのかわりには怯えて上を見つめながら
彷徨っている。そして同じように彷徨っていた
辰之助と共に登り切り脱する...

みたくないならさっさとアしてす。急な思考低下
鯉のほりの風習はこも達が良い人生を
歩めたらいいな。という愛情でも
あるかなと
思ったりしたり。
先生も人の子なのでこも達です。

先生も人の子なのでこも達です。



鯉清先生と辰之助は恋愛というより依存や
傷の癒め合いに近い関係かも知れないです。
愛はひとによって全でかたが違うと
思っている。二人はこのまま静やかに逃げて
生きていくのもえらいいいなあ。

逃げるという
マイナスなイメージが大きいかもしれない
のですが、もはや生きていくという
大変なことをしているの、良い逃避をするのは
とっても大事ななことだと思います。

ここまでお読みくださりまして誠にありがとうございます。
ございました。またすけへやギャクや書物を
聞きたった煮して描いていくかと思いますが、
読んで頂けたら幸いです。

良ければのちのちで感想頂けますと
嬉しいです。タグ #花に響く 桜の日

ありがとうございます。

嶋次郎





『花に堕ち、桜の日。』

2019.12.

間。

著 嶋次郎

■嶋次郎 Shimajiro
■pixiv ID:1601653
■aida.shimaji@gmail.com

この作品はフィクションです
実在するものとは一切関係ありません
無断転載、複製コピー、再頒布、禁止
確認次第ご連絡を差し上げております
未成年の方の閲覧を禁止しております

Unauthorized reproduction is subject to usage fees.
未□授权复印将收取□用。